

選外佳作の八

蚤と蝨と蟋蟀の
高飛び競争

幸 田 信 子

寒いく／＼冬が行つてしまひ、「お日様にこ／＼日本晴」のお歌の様にボカ／＼本當に氣持のよい日が參りました。今迄寒くて、土の下にち／＼こまつてねてゐた色々のきれいなお花の芽がお目をさまし、お隣のお友達に、「暖かくなつた様ですからもうそろ／＼起きませうか」ミ御相談をして、お足を延ばし、お手を延ばし、思ひきり背延びをして土の上に可愛い頭を出しました。そして小さい葉を出しそれが大きくなつて、後から／＼澤山の葉が出て、そしてお花が咲いたものですから、お山や野原はミても／＼美しくなりました。そして蝶々が來て遊んだり、蜜蜂

が飛んで来てお花のおいしい蜜を澤山吸つたりして、本當に楽しさうでございました。それからお山や野原には櫻の花が一ぱい咲いて、そして散つてだん／＼暑くなつてさう／＼夏になりました。

するさ、この野原の真ん中に小さな新しいお家が三軒竝んで出来て、蚤／＼蟋蟀／＼螞蟓がお引越をしてまゐりました。三軒は大變仲がよございしました。そしてもつこよい事にはめい／＼のお家と同じ位の子供が一匹づつゐて、毎日仲よく飛んだりはねたりダンスをしたりお歌をうたつたり、それからお母様においしいお辨當を拵らへて頂いて、三匹でお山に遠足に行つたりして遊んでおりました。そして一度も喧嘩なごしたことがありませんでした。

或時、三匹が集つて、いつもの様に遊んでをりますさ、蚤が

「もし／＼螞蟓さん／＼蟋蟀さん私達毎日かうして唯遊んでばかりゐてもつまりませんから、いつか一度誰が一番高く飛べるか高飛び競争をして見やうではありませんか。」

さ申しました。蟋蟀も螞蟓も喜んで「それは大變面白いでせう、それでは今度の日曜に朝十時からすることにしませう」さ御相談がきまりました。三匹はお家に歸つてその事をお父様やお母様にお話してみましたら「それは良いござです、一生けんめいなさい」さおつしやいました。日曜までには、めさ五日ありました。三匹はさうにかして自分が一番立派に高く飛びたいさ一

生懸命お稽古を致しました。

いよ／＼日曜になりました。今日は蚤／＼蠅／＼蟋蟀の子供達の高飛び競争が有る／＼云ふので、親類の蟲や近所の蟲等が朝早くから原っぱの入口にある運動場に集まりました。そして蚤や蟋蟀や蠅のお父様やお母様は、子供達の一番好きな御馳走を澤山持つて應援に出かけました。そして／＼か一番勝つ様に／＼お祈りをして居りました。

あまりのさわぎに、蟲の國の王様は、何かあるのか／＼不思議にお思ひになり、御家來にそのわけをおき／＼になつて、「それは大變面白さうだから、私も／＼つ見物にゆきませう。そして一番勝つた者に澤山御褒美をあげませう。／＼おつしやいまして、家來の者に色々のよい物を持たせ、立派なお車におのりになつてお出かけになりました。

おやさしい王様のお出まし／＼聞いて、皆の蟲共は大變喜び、お歌を唱つたりしておもてなし致しましたが、その中でも一番よろこんだのは、三匹の子供達のお父様やお母様でした。いよ／＼十時になりましたので、競争がはじまりました。蚤／＼蠅／＼蟋蟀は、今日は真白な運動服を着て王様のお前に出て来て、丁寧におじぎを致しました。それから「ジャンケンポン」をして蚤が一番勝ち、二番が蠅で、おしまひが蟋蟀でしたので、その順番に一匹／＼つ飛んでみて、それを物指で計つて、誰が一番かをきめる／＼云ふ／＼になりました。審判官には蟻のおぢさんが選

ばれました。黒いお洋服を着て、大きな物指を持つて出てまわりました。

「用意——、ドン」で蚤が一生涯命飛びました。そして今迄にない程それは澤山飛びました。残念なこころには、今朝おうちでお母様が、「澤山ごはんを食べてちからをつけてもらつしやい」こおつしやいましたの言ふこころをきかないで、ごはんを頂かないでピン／＼はねてばかり居りましたので、體がさても軽く、「ピン」さはねたと思つたらすぐ落ちてしまつて、餘りに早くて蟻のおぢさんは物さしで計るこころが出来ませんでした。次に螽斯も一生懸命飛んだのですが、ゆふべお母様が「明日つかれるさいけませんから、早くおやすみなさい」こおつしやいましたのに、いつまでも／＼起きてゐて、中々ねませんでしたので、相憎／＼に来る途中に足が痛くなつて、餘り飛べませんべした。さあ今度は蟋蟀の番になりました。蟋蟀はゆふべも早くおやすみし、今朝早く起きて、ごはんもゆつくり頂いたので、少しも疲れてゐません。それで落ちついてしつかり元気飛んだので一番高く立派に飛んで、王様から澤山の御褒美を頂きました。そして「おまへはいつもお家の方の云ふこころをよくきくさうだ。よい子ぢや／＼。」こおほめにあづかりました。蟋蟀のお父様やお母様はごんなに嬉しかつたでせう。それから蟋蟀は螽斯や蚤に御褒美をわけてあげて、仲よくお家に歸りました。